

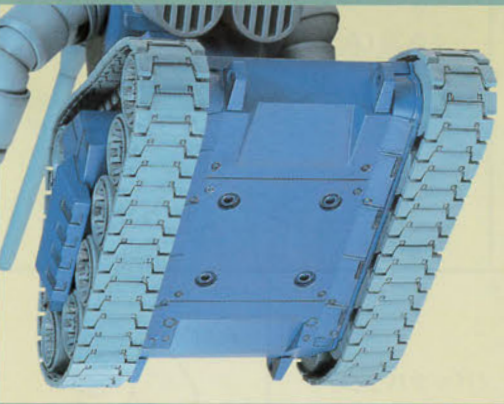
サイドビュー



戦闘状態 (アクションポーズ)



機体下部ディテール



リアビュー



# RX-75 'GUNTANK'

## E.F.S.F. PROTOTYPE LONG-RANGE SUPPORT MOBILE SUIT

© 前通・サンライズ

MODEL NUMBER : RX-75  
 TOTAL HEIGHT : 15.6m  
 WEIGHT : 56.0t  
 TOTAL WEIGHT : 80.0t  
 GENERATOR OUT PUT : 878kw  
 THRUSTER GENERAL OUT PUT : 88000kg  
 MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY  
 ARMAMENTS :  
 120mm LOW REACTION CANNON×2  
 40mm QUADRUPLET BOB MISSILE LAUNCHER×2



1/144 SCALE  
**HG**  
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。

**BAN  
DAI**

### COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
 ●写真の完成品は、塗装してあります。  
 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 胸、車体：
  - インディブルー (40%)
  - +コバルトブルー (40%)
  - +レッド (10%)
  - +ホワイト (10%)
  - ※または、ガンダムカラーブルー5
- 砲塔、ホイール：
  - ミディアムブルー (40%)
  - +ニュートラルグレー (40%)
  - +イエロー (10%)
  - +ホワイト (10%)
  - ※または、ガンダムカラーグレー4
- 腰、腹部等：
  - モンザレッド (100%)
  - ※または、ガンダムカラーレッド1
- 頭部：
  - ホワイト (100%)
  - ※または、ガンダムカラーホワイト2
- インテーク等：
  - イエロー (60%)
  - +オレンジイエロー (30%)
  - +ホワイト (10%)
  - ※または、ガンダムカラーイエロー1
- 腕等：
  - ニュートラルグレー (40%)
  - +ミディアムブルー (40%)
  - +ホワイト (20%)
  - ※または、ガンダムカラーグレー3

## RX-75 "GUNTANK"

「ガンタンク」は、U.C.0079年に連邦軍が「V作戦」に基づいて「ガンダム」「ガンキャノン」などと共に開発した長距離支援型MSである。実質的な開発そのものは「RX計画」以前から進行していた次世代MBT開発プロジェクトに端を発するが、RX計画の実施に伴って、その部門ごと同計画に統合された。さらに基本仕様を「対MS戦にも対応可能な機体」に変更され、連邦軍による最初期のMS、RX-44として4機ほどが完成した。RX-75ガンタンクは、その機体が「V作戦」におけるMSの動力系のテストヘッドとして改装され、熱核反応炉やコアブロックシステムを組み込んだ機体として再設計された機体なのである。

### ヘッドユニット

もともとRX-44の「頭部」は「機体制御用」コクピットとは独立した「砲座」として設計されていたが、ホワイトベースの部隊内においては、パイロット不足という背景から改修が施され、機体の制御や火器管制を含む全ての操作は頭部から可能となった。MSとして他と比較すると異例な措置だが、ガンタンクの「長距離支援型」という運用側面から見れば、妥当であるとも言えるだろう。



バックパック

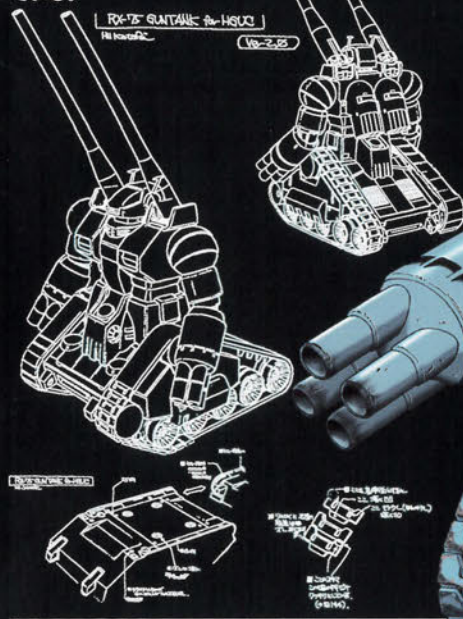
### キャタピラ

RX-75は、連邦軍製MSの開発技術が確立される以前に設計されたためキャタピラが採用されたままであった。技術的には、MSの「脚部」の信頼性や実効性が破綻した場合の保険として温存されていたという側面もあったのである。実際には、このキャタピラ自体既存の戦車車両などから見れば非常識なほど巨大であり、旧世紀のロケットの移動式打上台や建機などの技術が援用されている。この装備は空間戦闘において完全なデッドウェイトとなるが、重力下においてはこの巨体を時速約70kmで疾駆させることができる破格の機動装備でもあった。

協力：ホビージャパン

## ■RX-75 GUNTANK (ガンタンク)

ホワイトベース部隊において、主にガンタンクに搭乗したのは、ハヤト・コバヤシやリュウ・ホセイらであった。他のクルーによっても何度か運用されているが、長距離戦闘においては、その威力を遺憾なく発揮していた。ジャブロー攻略戦以降は、主戦場が宇宙に移行したこともあり、空間戦闘における機動性に問題があった本機は戦闘支援の任に就くことが多かったと言われている。



■ガンタンク デザインワークス  
「ガンタンク」のリニューアルデザインにおいては、120mm低反動キャノンやヒジ関節などははじめとする、機体各部のフレキシブルな可動を可能とし、キャタピラ等に見られる戦車をイメージさせるディテールの追求が重点的なポイントと言える。  
(コンセプトデザイン：カトキハジメ)



40mm4連装ポップミサイルランチャー

120mm低反動キャノン

### SPEC

型式番号：RX-75  
全高：15.6m  
本体重量：56.0t  
全備重量：80.0t  
ジェネレーター出力：878kw  
スラスタ総推力：88000kg  
装甲材質：超鋼合金ルナ・チタニウム  
武装：120mm低反動キャノン×2  
40mm4連装ポップミサイルランチャー×2

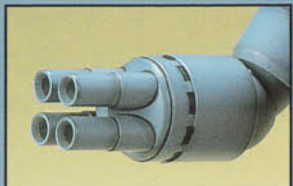
コクピット

フレキシブルショルダー

## RX-75 ガンタンク

「ガンタンク」の最終アセンブリーは、サイド7の連邦軍工廠において極秘裡に行われていたが、搬出直前に敵の襲撃を受け、その戦闘によって正規乗組員のほとんどが死傷してしまったため、母艦であるホワイトベースとともに避難した少年少女たちの手によって運用されることとなった。実際、この機体の実戦投入は疑問視されていたらしいが、確たる戦果を挙げたことも事実である。

▼40mm4連装ポップミサイルランチャー この機体は、開発途上で対MS戦闘への対応が求められたため、近接戦闘時の対応策として、別の兵器の固定武装として開発されていた武装を腕部に組み込んでいる。給弾機構も腕部に内装されているため関節の可動範囲が狭く、マニュアル操作としてはほとんど機能しない。



▲120mm低反動キャノン 信頼性の高い既存の技術を盛り込んだ長射程の実体弾を高精度で射出する。この武装はビームライフルの開発が実戦投入に間に合わなかった場合の善後策として採用されたものだったが、誘導兵器が使用できない状況下において、特に地上戦では威力を発揮した。

## ガンタンク

RX-75ガンタンクは、連邦軍初のRXモビルスーツだが、既存の動力機構と無限軌道式の機動装置を持つMSは、両軍を通じて唯一と言っても過言ではない。ただし、MSサイズの機動兵器としては十分な成果を挙げており、また、走破性はともかく、MSが根本的に抱えていた「地上における行動半径の狭さ」という問題を単機で解消した唯一の機体でもあったのである。RX-78の支援装置として開発されたGフアイターがキャタピラを使うモードをバリエーションに持つのはそのためらしい。また、「戦車車両」として優秀な側面もあったため、局地防衛用に再設計された後継機RMV-1ガンタンクIIは、後に量産されることとなった。



### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》● 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。  
● 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。● 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

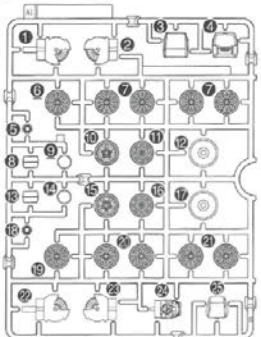
### 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。● 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。● 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

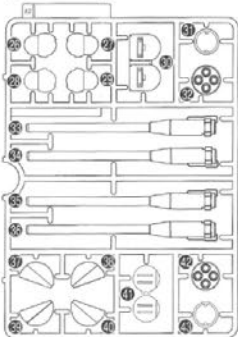
## パーツリスト

【使用材質】〈成形品〉(スチロール樹脂:PS)、〈ポリキャップ〉(ポリエチレン:PE)

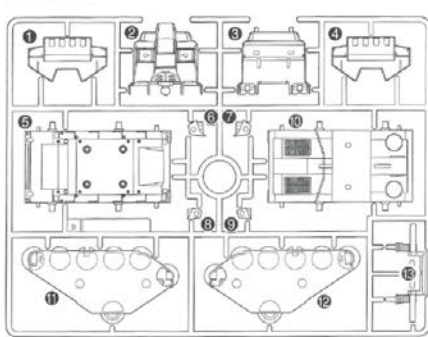
A1パーツ



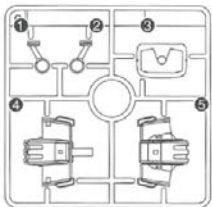
A2パーツ



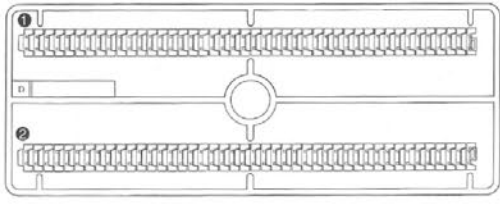
Bパーツ



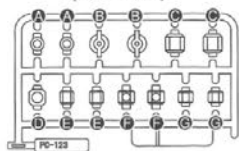
Cパーツ



Dパーツ



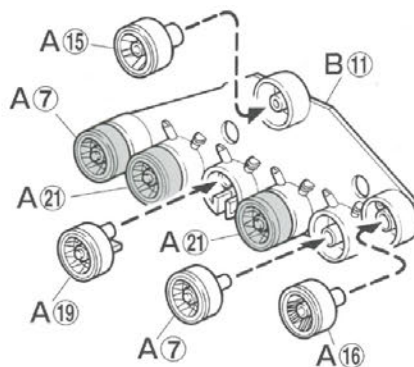
〈P.C-123〉



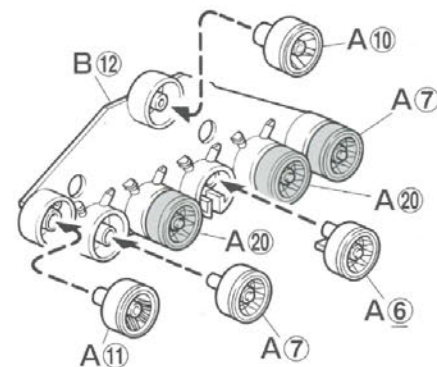
※P.C③1個は予備です。  
P.C④は使いません。

## 1 《タンク本体の組み立て》

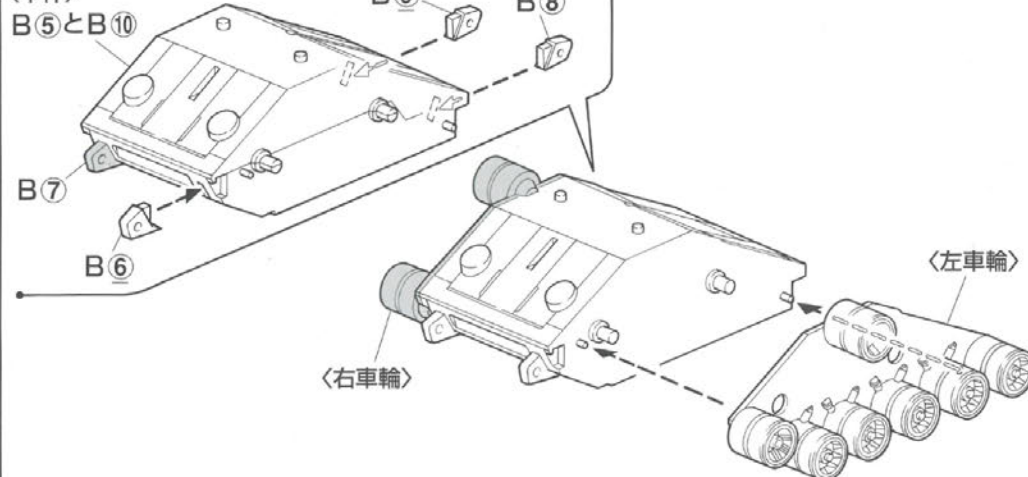
〈右車輪〉



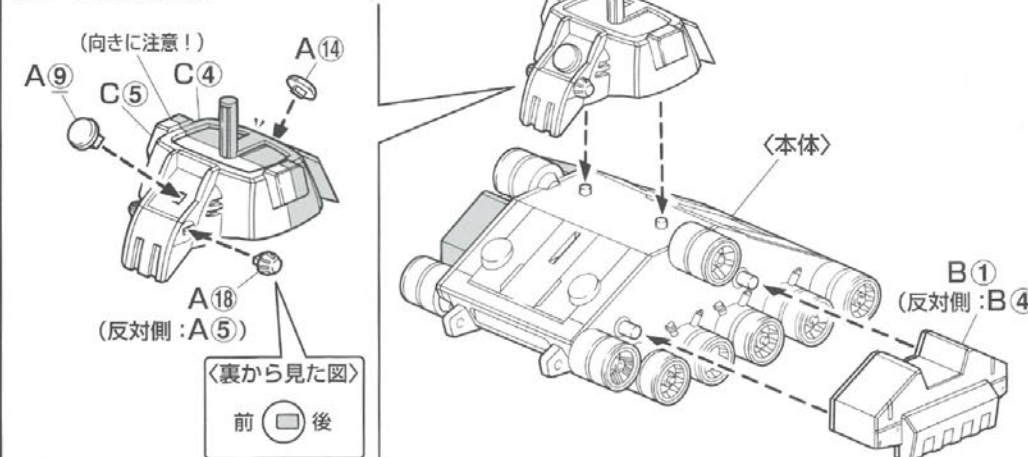
〈左車輪〉



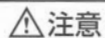
〈本体〉



〈タンク本体の完成〉



## 2 《キャタピラの取り付け》



**注意**

●キャタピラは曲げすぎると白く変色したり、切れたりする恐れがあります。

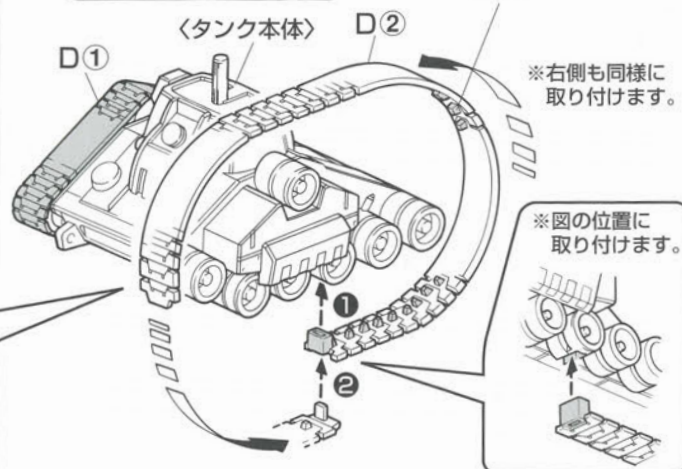
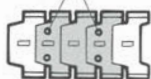
※この部分を車輪のミゾに合わせていきます。

※右側も同様に取り付けます。

※図の位置に取り付けます。

《裏から見た図》

※この印の内側の部分を少し曲げておきます。



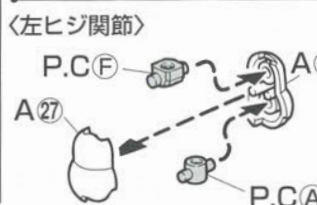
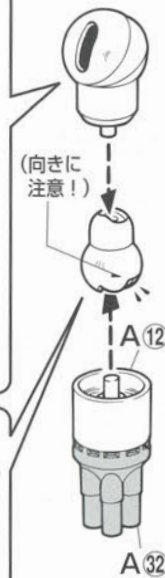
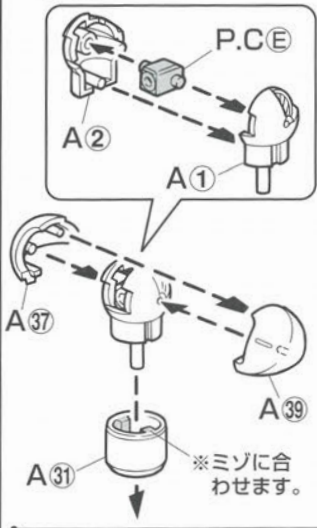
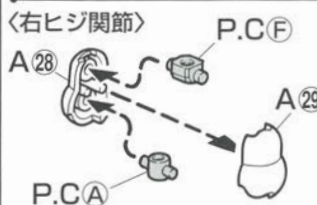
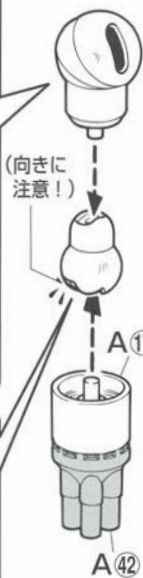
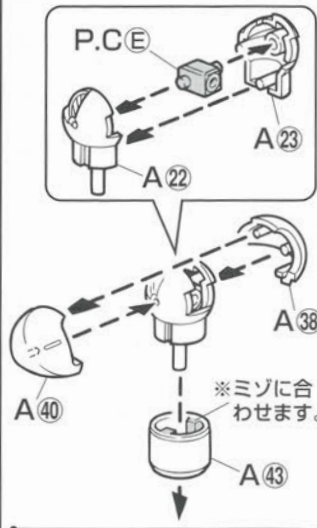
## 3 《右腕の組み立て》

《右上腕》

《右腕の完成》

《左上腕》

《左腕の完成》



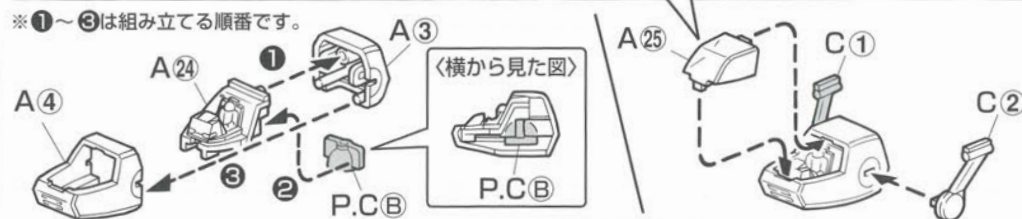
## 5 《頭部の組み立て》

**注意!**

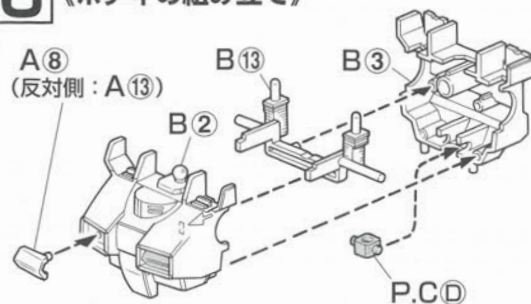
※A.25パーツは、下の図のように切り取るとキレイになります。



※①～④は組み立てる順番です。

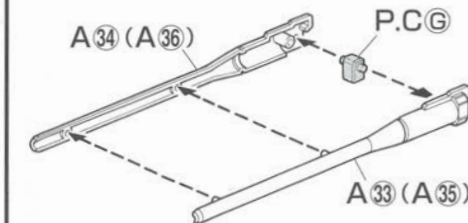


## 6 《ボディの組み立て》



## 7 《キャノン砲の組み立て》

※2個作ります。



## 8 《完成》

